

2016年8月2日

SignalNow シリーズをお使いの皆様へ

ストラテジー株式会社

## 気象庁緊急地震速報の誤報について

(2016年8月1日17時9分頃)

謹啓 平素より弊社製品 SignalNow シリーズをご利用いただき、誠にありがとうございます。  
す。

表題の件について、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 誤報の状況

##### (1)発生時刻

2016年8月1日 17時9分頃

参考：気象庁の当該のページ

[http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/fc\\_hist/2016/08/20160801170904/index.html](http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/fc_hist/2016/08/20160801170904/index.html)

##### (2)誤報の内容

緊急地震速報のシステムで東京を震源とする最大で震度7程度の激しい揺れを伴う地震が起きる可能性があるとして緊急地震速報が発表されました。

発表されてから15秒後にキャンセル報が発表され、取り消されました。

##### (3)誤報発表の原因

気象庁の発表によると当該時刻に東京湾を震源とする地震は観測されておらず、およそ3分後にも同じ地震計から強い揺れを示す誤ったデータを得たということです。

気象庁では当該時刻にこの地震計の周辺には発達した雨雲が掛かっていたことから、落雷により地震計に誤ったデータが記録されたことが原因ではないかとみて、詳細を調べています。

#### 2. SignalNow シリーズについて

弊社の SignalNow シリーズは、気象庁から発表された緊急地震速報に基づき、端末側(ソフト製品も含む)で震度等を予測演算する、気象庁ガイドラインに準拠したシステムです。

気象庁から発表される緊急地震速報の電文には、その電文に記載されている情報の正確さを示す「確からしさ」という項目があり、弊社の SignalNow シリーズは予測演算の際、「確からしさ」を検証する仕様です。

今回の誤報では、気象庁から発表された電文の確からしさにおいて、基準に到達していなかったため SignalNow は通報処理を行っておりません。

通報処理がされなかったことについて多くのお問い合わせを頂戴いたしました。

原因の解明に手間取り、申し訳ないことでしたが、上記の通りお知らせいたします。

今後とも引き続き、弊社製品についてご愛顧賜れますようお願い申し上げます。

以上